

The following is an excerpt from the Japanese tale 『Tongue-Cut Sparrow/ 舌切りすずめ』

Rewire it in the perspective of 「雀（すずめ）」 by switching between the passive and active voice.

…そして、お爺さんじいが仕事じいをしている時、お弁当は全てすべ雀すずめに食べられてしまいました。で

(雀は) お爺さんに怒られませんでした

お弁当は雀が全て食べてしまいました

も、お爺さんじいは怒りおこませんでした。それは、お爺さんすずめが雀を「かわいい」と思ったからで

それは、雀がお爺さんに「かわいい」と思われたからです

す。そして、雀すずめを家につれて帰りました。それから、お爺さんすずめは雀を「チュン」と名な付け

(雀はお爺さんに) 家につれて帰られました

「チュン」と名づけられて、かわいがられました

で、とてもかわいがりました。かご(cage)に入れて、大事にかいました。でも、お婆さんは

かごに入(い)れられて、大事にかわれました

雀すずめをきらいました。お爺さんがいない時、お婆さんすずめは雀をいじめました。

でも、雀はお婆さんにきらわれました

お爺さんがいない時、雀はお婆さんにいじめられました

…お婆さんは出かける前に、雀すずめに「ねこが洗濯のりを食べないように見ていなさい」と言

雀はお婆さんに、「ねこが洗濯のりを食べないように見ていなさい」と言われました

いました。…家に帰って来たお婆さんはとても怒おこって、雀をしかったです。そして、雀をつか

雀は、家に帰って来たお婆さんにとっても怒られて、しかられました

まえました。お婆さんは「この舌したが悪いことをしたのか」と怒ど鳴なって、はさみで雀の舌を切っ

そして、(お婆さんに) つかまえられました

「この舌が悪いことをしたのか」とどなられて、

てしまいました。そして、お婆さんは雀を家から追おい出しました。…

(お婆さんに) はさみで舌を切られてしまいました

そして、家から追い出されました